

諏訪湖流入河川の宮川に係る流域汚濁負荷実態調査(中間報告)

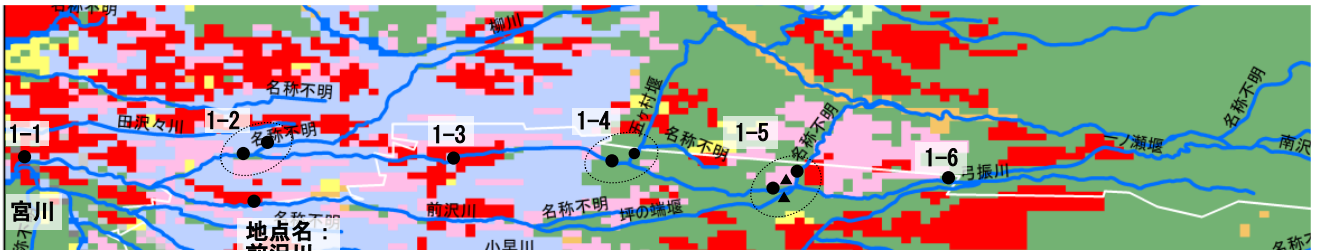
環境保全研究所

1 調査目的

諏訪湖流入河川のうち全窒素の濃度が高い「宮川」において、平成 29 年度に実施した本川及び支川の水質調査により汚濁負荷又は全窒素濃度が高い 2 河川において、汚濁負荷の高い地域を特定するための詳細な水質調査を実施し、その水域における非特定汚染源対策を推進する。
(対象河川：弓振川(汚濁負荷が大)、蟹出川(全窒素濃度が高く、土地利用が比較的明確に分かれている))

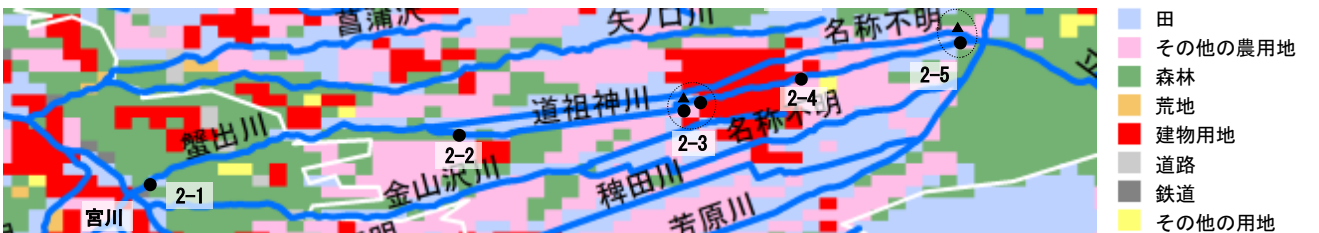
2 調査地点

弓振川



1-1～1-2～前沢川 田、畑、住宅等
 1-2～1-3 田、畑
 1-3～1-4 田、畑
 1-4～1-5 森林
 1-5～1-6 畑
 1-6より上流 森林

蟹出川



2-1～2-2 田、畑、森林
 2-2～2-3 田、畑
 2-3～2-4 住宅等
 2-4～2-5 田、畑
 2-5より上流 森林、堰

3 調査結果 (全窒素(T-N)のみ)

	項目	状況	理由 (推測)
弓振川	流量	1-1～1-2～前沢川の間で増加 1-4～1-5の間で増加 (降雨時)	・ 1-1～1-2～前沢川の間で発生量が大 きいか、大きな合流が存在する可 能性あり ・ 1-3～1-4 付近で発生量が大 きい
	濃度	1-1・1-2・前沢川で高い 1-3～1-4の間で増加 (平常時)	
	負荷量	1-1～1-2～前沢川の間で増加	
蟹出川	流量	流下するにつれて徐々に増加	徐々に流域の水を集水している
	濃度	2-4～2-5の間で増加	田畑が多く、溶出が多い
	負荷量	2-2～2-3の間で増加	田畑が多く、溶出が多い
		2-1～2-2の間で変化が少ない	森林が多く、溶出が少ない
	2-3～2-4の間で変化が少ない	住宅地が多く、溶出が少ない	

弓振川・蟹出川ともに、流量・濃度・負荷量が、流下するにつれて増加していた。
ほとんどの地点で、平常時より降雨時の量が大きかった。

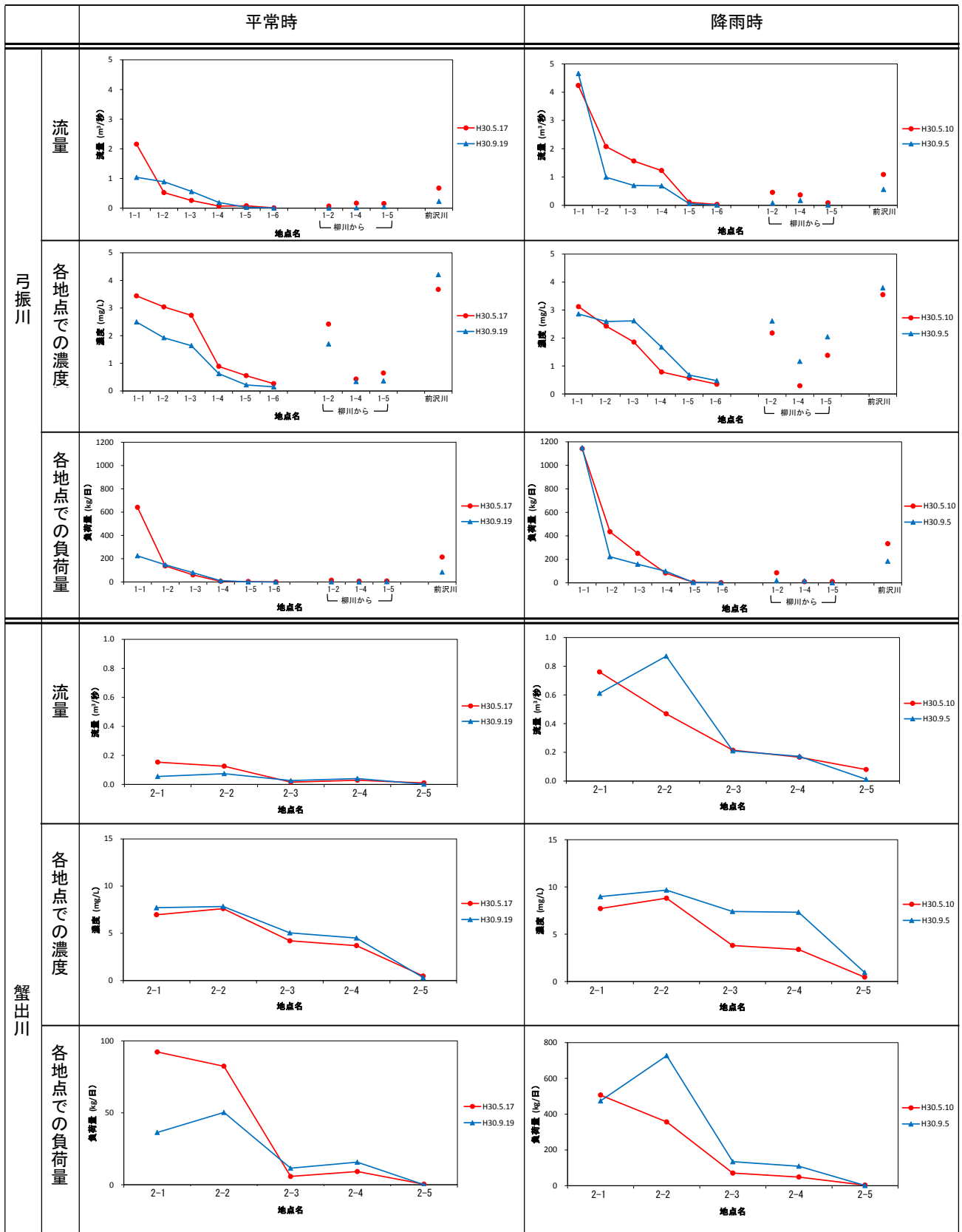


図 流量及び全窒素 (T-N) の濃度・負荷量